



平成23年5月12日

各位

上場会社名 クレアホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 黒田 高史  
 (コード番号 1757)  
 問合せ先責任者 取締役 岩崎 智彦  
 (TEL 03-5775-2100)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	417	△387	△461	△502	△0.82
今回修正予想(B)	382	△450	△626	△592	△0.87
増減額(B-A)	△35	△63	△165	△90	
増減率(%)	△8.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	514	△728	△1,102	△1,747	△9.23

#### 修正の理由

##### 1. 売上高の減少及び営業損失の増加

当社は、当社が建設した戸建て住宅のリフォーム・メンテナンス事業を取り扱う連結子会社として株式会社TGAハウジングサービスを保有しており名古屋営業所を主力とした地方展開を図って参りましたが、この度、名古屋営業所を除く地方営業所について平成23年1月に九州営業所、翌2月には広島営業所及び高松営業所の営業活動を停止致しました。これら閉鎖された地方営業所の営業活動停止の原因につきましては、予ねてより着手していた各営業所単独での黒字化への転換が、結果、出来なかったためであり、そのため各営業所の固定費を削減することで当社全体の負担を軽減させたためであります。そのため、平成23年3月期第4四半期においては売上高及び営業利益が当初の予想を下回る結果となりました。また、株式会社サニーダにおきましては、平成23年3月に発生した震災の影響によりガソリン、建設資材の不足などのマイナス要因が重なり、そのための訪問営業機会の喪失や工事の施工遅れなどに影響が顕在化しました。

##### 2. 経常損失の増加

当社は、継続する営業キャッシュ・フローのマイナスのために新株予約権の行使により資金調達を行って参りましたが、当該状況を改善すべく、平成23年3月31日に開示しております「固定資産の取得に関するお知らせ」に記載させて頂きましたとおり、当社の孫会社であるクリアファシリティマネジメント株式会社が不動産を取得し、その取得資金を、平成23年2月3日に100,000千円、平成23年2月4日に100,000千円、平成23年2月10日に500,000千円、平成23年2月22日に300,000千円の合計1,000,000千円の新株予約権の行使により調達しました。その結果、これに付帯して支払われるコミットメントフィーが120,000千円増加したことにより、当初見込んでいた経常損失を165,000千円上回る見込となりました。

##### 3. 当期純損失の増加

上記に記載いたしました「売上高の減少及び営業損失の増加」、「経常損失の増加」が主な要因となり、当期純損失が当初の見込より90,000千円増加する見込となりました。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上